

# 紀の体

 和歌山市管工事業協同組合



謹  
賀  
新  
年

田原の海霧(東牟婁郡串本町)

URL <http://www.w-kankoji.com>

E-mail: [wakayama@w-kankoji.com](mailto:wakayama@w-kankoji.com)

## 「田原の海霧」

田原の海岸では12月～1月の早朝に「田原の海霧」とよばれる幻想的で有名な現象が発生します。放射冷却により田原川上流にたまった霧が川を下りながらその量を増して行き、暖かい海に出たところで濃くなって表出することによって生まれるものです。年に4～5回、特に素晴らしい時があり、大勢のカメラマンが何日も泊り込み、シャッターチャンスを狙うので有名なスポットです。

## － 目次 －

新年のご挨拶	理事長 小向俊和 …	1
新年のご挨拶	顧問 和田秀教 …	2
新年のご挨拶	顧問 山下直也 …	3
新年のご挨拶	青年部会長 中井啓仁 …	4
役員会報告	……………	5
組合の動き・青年部の動き	……………	7
雑学の泉	……………	8
会社訪問	……………	9
趣味のコーナー	……………	10
編集後記	……………	11



## 新年のご挨拶

和歌山市管工事業協同組合

理事長 小 向 俊 和

謹んで新年を賀し、組合員の皆様のご繁栄をお祝い申し上げます。旧年中は何かと組合事業にご参加、ご協力を賜わりまして、まことにありがとうございました。本年もいっそう組合員の皆様のご期待に沿えますよう、役職員一同精進、努力いたしますので、よろしくご支援のほどお願い申し上げます。

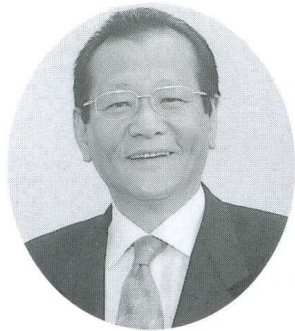
さて昨年の我が国の経済は、東日本大震災の復興需要もあって、成長回復が期待されておりましたが、復旧・復興事業費を除く、政府の建設投資は、震災以前と比較してむしろ減少しており、欧州債務危機と中国の成長鈍化、日中関係の悪化による貿易・観光産業への影響、エコカー減税の終了もあって、3年半ぶりに景気の基調判断も悪化に下方修正されています。

昨年12月に実施された第46回衆院選挙により3年余り続いた民主党政権に変わって、自民党を中心の政権が誕生しました。新政権に対する国民の期待も大きく、国内総生産（GDP）比125%を超える公的債務、高齢化社会、低成長、デフレ等の問題にどのように対処していくのかが問われています。今年予定されています参院選挙まで、デフレからの脱却、景気回復による雇用の拡大に道筋がつけられるか当面の課題と云えます。

水道施設の耐震化につきましては厚生労働省では東南海・南海地震などの大規模な地震の被害が想定される地域を優先して、水道管の耐震化を進めていくことになり、災害対策と同時に需要が期待されます。昨年には懸案になっていました、和歌山県と和歌山県管工事業協同組合連合会との間で「災害時における水道施設復旧作業の応急対策への協力に関する協定書」が締結されました。傘下の組合として、より一層重責をはたしていきたいと考えています。

最後になりましたが組合員の皆様の益々のご繁栄を祈念し、年頭のごあいさつとさせて頂きます。





## 新年のごあいさつ

和歌山市議会議長

顧問 和田 秀 教

新年明けましておめでとうございます。

和歌山市管工事業協同組合の皆様方におかれましては、お健やかに、素晴らしい新年をお迎えのことと存じお慶び申し上げます。

平素は、市政の発展にご協力いただくとともに和歌山市議会の活動に、ご理解とご支援を賜わりまして厚く御礼申し上げます。

昨年6月には和歌山市議会から、2期連続して議長をするように要請され、熟慮の結果引き受けさせていただきました。これもひとえに皆様方の温かいご支援、ご声援のお陰と感謝いたしております。

貴組合におかれましても、昨年2月に和歌山県知事から感謝状を頂き、11月には厚生労働大臣より表彰状を授与されました。これは、平素の組合の活動が地域社会に根ざした行動であり、さらに災害に対する備えや徹底した危機管理のたまものと思われまます。誠に喜ばしい限りです。

さて、12月の総選挙で、我が自由民主党は、国民の皆様、市民の皆様の暖かい信頼のお陰で、単独過半数を獲得させて頂きました。公明党の皆様とともに再び政権を担当させていただき「国土強靱化」政策を推進して、強くしなやかな国づくりを目指してまいります。主権は皆様方一人ひとりであることを肝に銘じて、3年3ヶ月の勉強を糧に皆様方のご期待に添えるよう精進してまいります。

本年は、集大成として、新しい政治に取り組んでまいり所存でおります。さらに、魅力あるまちづくりとして、定住化政策や企業誘致による雇用の創出など、「生みやすく、育てやすいまち」即ち、「子や孫の時代から和歌山に生まれ、育て、住んで、良かった。」と思われるまちづくりをしてまいります。

結びに、組合員の皆様、職員の皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げ新年のごあいさつといたします。

合 掌



## 新年のご挨拶

和歌山県議会議長

顧問 山下直也

新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

和歌山市管工事業協同組合の皆様方におかれましては、ご健勝で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は、県民の安全な水の確保にご尽力をいただいておりますこと、並びに県政の推進と県議会活動に対しご理解とご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、水道は、人々の生活や経済活動を支える欠かすことのできない重要なインフラであり、災害や事故で使用できなくなった時、そのありがたさを思い知ることになります。

昨年も、九州北部豪雨災害をはじめ梅雨前線や台風の影響等により全国各地で災害が発生し、公共インフラが大きな被害を受けております。また、昨年8月に内閣府から南海トラフ巨大地震による被害想定が公表されました。施設の安全性を確保し、災害時の被害を最小限に食い止めるためには、施設の耐震化や防災機能の強化等を行うなど、災害に強いものにするとともに、発生後の迅速なライフライン確保のため、その体制整備等を行う必要があります。

そうしたなか、災害が発生した時の水道施設の応急復旧について、昨年8月に県管工事業協同組合連合会と県が「災害時における水道施設復旧作業の応急対策への協力に関する協定」を締結されましたことは、誠に頼もしい限りであります。

また、災害対策とともに、施設・整備の老朽化による事故防止をするための対策も必要であります。適正な保守点検整備や計画的な更新を行い、良好な状態を維持していくことや、事故による断水の影響を少なくするためのバックアップ機能の強化が重要と考えます。

組合員の皆様におかれましては、県民の安全で安心な暮らしの確保と水環境の保全のため、ご尽力賜わりますようお願い申し上げます。

結びに、本年が貴協同組合並びに組合員の皆様にとりまして、飛躍発展の年となりますことを、心から祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。





## 新年のご挨拶

和歌山市管工事業協同組合

青年部会長 中井啓仁

新年あけましておめでとうございます。

平成25年を迎え、組合員の皆様には謹んで新春のお慶びを申し上げます。

又、平素は、青年部活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、昨年11月10日に、全管連青年部協議会の事業で、東北地方太平洋沖地震により甚大な被害がありました福島県いわき市を訪れる機会を頂きました。震災から1年半以上も経過しておりましたが、未だに防護服に身を纏い除染作業を行う人や山のように高く積み上げられた瓦礫、基礎の部分だけが残り跡形もなくなってしまった家、おもちゃのように重なり合っている船・・・このような光景を目にしました。

途中で立ち寄った道の駅では、柱に貼られたタイルに、「頑張ろう」「希望の光」「家族」「ありがとう」という言葉がたくさん書かれていました。地元の人が「いわきを忘れないください。どうかこの状況を帰ってからみんなに伝えてください」と言っていたのがすごく印象に残っています。

近い将来必ず襲ってくると言われていています東南海・南海地震に直面している我々としては、他人事では無いのでは・・・と思います。

今年は、震災について今まで以上に青年部会員と、震災が起きたときにどのように対応し、どのような行動をとれば善いのか、積極的に話し合いたいと思います。

現在青年部では、京都市・神戸市・名古屋市・そして和歌山市の同世代の人達と、年に1回、4都市交流会を開催しております。

これは、前任の白井会長から始まり、今年で7回を迎えます。そして、今年のホストは、和歌山市青年部が行います。このような交流会を行っていくことで、震災がおこったときにいち早く情報を共有する手段として活かしていきたいと思っています。

青年部活動は様々な事業を通して部員の親睦と成長の機会を生み出すものでありますが、これからも青年部ゆえに行える「行動力」「団結力」を、組合の為、市民の為、困っている人の為に発揮していきたいと思います。

最後になりましたが、組合員の皆様におかれましては、これからも変わらぬご支援をお願い申し上げますとともに、今年がより良い1年となりますようにご祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 役員会報告

## 9月度 定例役員会

- 1. 開催日時 平成24年9月11日(火) 午後5時30分より
- 1. 開催場所 役員会議室
- 1. 役員定数 理事9名、監事2名
- 1. 出席役員 理事8名、監事2名

議事の概要は次のとおり

### 第1号議案 紀州ぶんだらおどり参加費用の精算について

議長の命により事務局長から、別紙により参加費用の明細を提示、承認を求めたところ全員異議なく承認にて可決。

### 第2号議案 平成24年度 組合親睦旅行について

議長の命により事務局長から、7月の定例役員会では、今年度は中止する旨の意見があるも、紀南地方を元気にするため別紙により「熊野三山めぐり」を提案、全員異議なく了承。

### 第3号議案 屋外用防犯カメラシステム（本部）の導入について

議長の命により事務局長から、組合本部に屋外用防犯カメラを設置したい旨、別紙見積書により提案、全員異議なく賛成にて可決。

### 第4号議案 穿孔機等の貸出料の引上げについて

議長の命により事務局長から、穿孔機、テストポンプの貸出料の引上げについて、ドリルの研磨料、テストポンプの修理代を鑑みて、貸出料の引上げ案について別紙により提案、全員異議なく原案どおり可決。

#### 報告議題

事務局長より下記の項目について報告があり、全員異議なく了承した。

- 1. 各種講習会の開催日程等について
  - (イ) 労働基準協会
  - (ロ) キャタピラー教習所
- 2. 平成24年度 技能検定試験（建築配管）の実施について
- 3. 石油機器技術管理士講習・認定試験のご案内

4. 消防設備士講習（法定義務講習）実施案内について
5. 和歌山県と県連合会との災害協定締結について
6. 「消防設備点検資格者の資格取得に係る講習会」について

## 11月度 定例役員会

1. 開催日時 平成24年11月14日(水) 午後5時30分より
1. 開催場所 役員会議室
1. 役員定数 理事9名、監事2名
1. 出席役員 理事9名、監事2名

議事の概要は次のとおり

### 第1号議案 組合の年末年始の業務体制及び主要行事日程について

議長の命により事務局長から別紙により標題についての案を提示、原案どおり全員賛成にて可決。

### 第2号議案 平成25年度の組合のカレンダーについて

議長の命により事務局長から、翌年の組合カレンダーを提示、原案どおり全員賛成にて可決。

### 第3号議案 組合職員の年末賞与について

議長の命により事務局長から、組合職員の年末賞与の支給について、例年どおりの支給率で了承を求めたところ全員異議なく賛成にて可決。

**報告議題** 事務局長より下記の項目について報告があり、全員異議なく了承した。

1. 社会保険未加入対策に関する件
2. 各種講習会の開催日程について
  - (イ) 建設災害防止協会〈12月～翌3月〉
  - (ロ) 労働基準協会（12月～翌1月）
3. 地山の掘削・土止め支保工作業主任者技能講習（建災防）について
4. 平成24年度生活衛生事業功労者（水道関係功労者）の厚生労働大臣被表彰について



# 組合の動き

## 平成24年度 厚生労働大臣表彰(水道関係功労賞)を受賞



小向理事長(前列左から二人目)



台風12号による紀伊水害「那智勝浦町水道配水幹線応急復旧応援」に功労があったとして、去る11月13日(火)午前11時30分より厚生労働省において、大臣表彰の授賞式が挙行政され、当組

合が表彰されました。この表彰における団体としての受賞は珍しく、より一層の使命を感じさせる受賞と云えます。

# 青年部の動き

## 第16回通常総会 ～富山～

全管連青年部協議会の第16回通常総会が、去る7月14日(土)午後3時から、名鉄トヤマホテルにて開催されました。

全国から総勢200人余りの会員が参加し、当組合青年部からも、中井会長、中山副会長、石橋幹事の3名が参加しました。

総会では、事業報告、決算報告、事業計画(案)、予算(案)、役員補充の5議案が議決され、総会と研修会の合間には、イベントとして「第

1回全国カン切断王選手権」が行われ、和歌山からは石橋幹事が挑戦してくれました。イベントの後には研修会、懇親会が開かれ、懇親会では、迫力ある獅子舞演舞、料理も厳選された富山名物に地酒などが披露されました。

最後は、富山より次回開催地の徳島に、金色パイレンでの引継ぎバトンタッチが行われ、閉会しました。





## 初夢 ～縁起といわれ～

あけましておめでとうございます。今年のお正月は暖かくてよい天気の皆様も例年通りのんびりと、あるいは、忙しく過ごされていることと思います。（この原稿を書いている時点ではお正月の天気はわかりませんが、穏やかな天気であることを願って）

ところで皆さんは今年の初夢をもう見ましたか。「初夢」というのですから新年になって始めてみる夢と思いますが、いつ見る夢を初夢というのでしょうか。実は、江戸時代には大晦日の夜から元日の朝にかけてみる夢、元日の夜に見る夢、2日の夜に見る夢というような3つの説があったそうです。

しかし、大晦日の夜から元旦にかけて初詣などで眠らない風習ができたり、良い夢を見るために2日の夜に枕の下に敷く宝船の絵が売られたりしていたのを見ると、忙しい元日の夜よりも落ち着いて眠れる1月2日の夜に見る夢を初夢というのが主流だったようです。

ちなみに、元旦というのは1月1日のことで、元旦というのは元日の朝のことです。「旦」の字は地平線から上る太陽を表していて、もともと元日の日の出という意味です。

初夢で見ると縁起が良い夢として、一富士（いちふじ）二鷹（にたか）三なすび（さんなすび）と言われますが、この続きがあるのを知っていますか。

「四」以降についてもいろいろ説があ

るようですが、代表的なものは、四扇（しおうぎまたは、よんせん）五煙草（ごたばこ）六座頭（ろくざとう）といます。座頭というのは剃髪した琵琶法師や按摩師のことです。

一富士二鷹三なすびと四扇五煙草六座頭は対になっていて、富士と扇は末広がり子孫や商売の繁栄を、鷹と煙草（の煙）は高く上るので運氣上昇を、なすびと座頭はどちらも毛がない（怪我がない）という洒落で家内安全を願う意味があります。

最初の3つ、一富士二鷹三なすびについては、徳川家康が富士山、鷹狩り、初物のなすびが好きだったことから、あるいは家康のゆかりの地である駿河の国（今の静岡県）の名物を家康にあやかって縁起の良いものとしたという説もあります。

「縁起」の良い「夢」の話ですので、難しいことは別として、正月3が日に見る夢を「初夢」ということにして、皆さん良い「初夢」を!!





会社訪問



おじゃマンⅡ号の  
儲かりまっか  
大 漁



中筋建設株式会社

和歌山市鳴神1035(平成24年1月に  
中島より本社移転)・岸和田営業所他

会社概要

- 代表取締役 **中筋 康文**  
昭和36年11月26日生 51歳 O型
- 設 立 昭和8年 先代 中筋清市氏が設立  
昭和26年 株式会社に  
平成8年 康文氏が代表取締役に就任
- 従業員数 19名(内事務職6名)
- 工事概要 住宅(ハウスメーカー・ホームセンター)  
給排水衛生設備工事・浄化槽維持管理・電気工事
- 資格等 管工事施工管理技士・浄化槽設備士・  
浄化槽管理士・電気工事士等
- モットー 「感謝」
- 家 族 妻・子供2人(長男大学4年・長女高1)

おじゃマンⅡ号の会社訪問は、名称は、建設会社なのに水道工事と電気工事だけ、法学部を専攻していたのに、なぜか技術系に?30年前は、おじゃマンⅡ号の先輩だった、中筋建設株式会社・中筋康文社長を紹介いたします。

おじゃマンⅡ号：先輩だったんですねー、それにしても本当に水道と電気だけなんです?

中筋社長：一般住宅が主なだけで、年間に250~300戸ぐらい受注があって、その水道設備と電気工事の仕事だけをしています。戦後、先代が会社を設立した当時、今と言うリフォームの仕事も多かったので「建設」にしたそうです。

おじゃマンⅡ号：なるほどねー、そやけどちょっと不思議なんですけど、先代が設立したのが昭和8年、戦前ですよ、社長の祖父の時代になりませんか?

中筋社長：私の父親です。ただし明治43年生まれ、私、51歳の時の子やもん!めっちゃ、元気やろー!

今の自分らの年やでー、なーおじゃマン!(ちなみに、おじゃマンⅡ号は社長の1歳下のS.37年生、父親でS.10年生、祖父が同級の明治43年生ですよ。)

おじゃマンⅡ号：えっ!おとーちゃん!『明治の男』だったのかー!

中筋社長：『ワイルドだろお!』『草食系』とちゃうでー!(当時ランプやラジオの製作・販売から電気屋さんを始める。和歌山の『W幸之助』って感じ!)

おじゃマンⅡ号：そーいえば、社長は「文系」「理系」?それとも「〇〇系」?

中筋社長：高校は「理系」大学は「法学系」就職先もその流れで決まってたんやけど、さすがの「明治の男」も「癌晴って」ということで今の会社に、再び「技術系」の世界へ、ちょうどその頃に大学と病院を毎週、飛行機で往復して『空の旅』に凝ってしまい「パリー・ニューヨーク・コンコルドの旅」とか「さよならジャンボ、タッチ&ゴー」とか、最近では「サッカーの日本代表戦・鹿島スタジアム」なんかで結構、飛行機に乗ってる。知り合ったJALのキャプテンとも大阪でよく飲んだりしてる。

おじゃマンⅡ号：そりゃそうでしょう、「JAL」だけでも今までに「日本の空」に「世界の空」かなり飛んでるでしょう?それに『アレ』もかなり貯まったでしょう!

中筋社長：『マイルドだろお!』





趣味のコーナー



うちゃんの  
**何と!**  
驚きました

**歴史秘話—ヒストリア**  
(総選挙編・和歌山特区)



組合事業部にて 松村君

うちゃんの『何と驚きました。組合秘話』第5弾は、年末の総選挙では、与野党12の党が乱立し、政権が再び変わり、第3極なるものが躍進するなど、波乱の年の瀬となりました。しかしその裏側では、影に隠れたというか、「未来の党」の後に届出した為、「幻の13番目の党」となってしまうだけというか、選挙資金が無かったというか、本来は和歌山特区から出馬予定だった、「東国原英・」候補ほども進んではいないが、「近いうちに」解散というか、『毛』やき通りに散ってしまいそうな候補者、『組合職員—松村浩男(ヒロオ)』候補を、そのまんま紹介しちゃいましょう!

通称『松ちゃん』のプロフィール

経歴 昭和49年1月19日生 38歳 大型

現在、妻一人

饅頭屋『喜美屋』の孫に生まれ、小学校時代は、ランドセルに饅頭を詰め込み、地元「新内(アロチ)」を闊歩する、管組合、入社18年目 資材部課長? 建築配管と餅つき指導員の資格を持つ。

大新公園を拠点に活動「立ち上がれ! 組合」代表の石○理事の「頭利・頭髪」を支持し、自らも「太陽の頭」を志す。さらに代表代行の盟友「本家うちゃん」(前党青年局長・元紀の水編集議員・1期を勤めるが落選、現在は会社役員)と共に石○チルドレンを束ねる頭3役

活動報告

2012年組合本会議において、松村候補(90<sup>+</sup>)

級・糖尿予備隊)は頭首石○理事(80<sup>+</sup>級・足腰癌晴れ隊?)・盟友「本家うちゃん」(100<sup>+</sup>超級・心筋梗塞隊)と「デブレ」脱却のため、ゴルフ・水泳など、体力向上のための法案を提出するが危機管理が甘く医療崩壊、さらに社会保障費が増大し、毛一気回復に努めるが毛一材は再生せず、農家戸別保障政策として「毛育て」支援するが、効果が遅く、頭心部では耕作放棄地が多く占める。支持率低迷がつづく中、家庭内平和のために、健康改正法案を「ねじれ」我家に提出するが「大苦情」を盾に奥さん議員の圧倒的反対決議で廃案となる。また、地元選挙区では「アロチ処島の購入」と「東ぶらくり丁の復興支援」を掲げ、パチンコ○藩より、多額の資金提供を受け、『2012年の賞金王』が確定、「アロチ特区構想」実現か!と報道されたが、所得申告を「飲み過ぎて」忘れ、投資した多額の経費も認められず、追徴課税を請求されたが、「覚えていない?」で不起訴となる。『金』は「過去のもの!」と言い残し、日々研究に専念、その後も新中通り4丁目の夕日がしずむと次々起こる「領内侵犯」の日々、盟友「U」と共に街頭に立ち、深夜の安全パトロール、組合員皆様のため、日中・日韓関係を重点にアジア諸国との友好関係を築きます。

そして、2012年師走、解散総選挙の時が来た!

立ち上がれ! 「13番目の党」その名は・・『珍党! 危機突破の会』『脱減髪!』『減贅肉!』『脱糖尿!』『頭皮税、増毛反対!』『三頭合意・PPP参加』『組合内禁煙、白紙撤回!』『子育て教育・支援の見直し!』

松村浩男、みなさまのために一生懸命働きます!





## 編 集 後 記



初春のお慶びを申し上げます。旧年中は、組合事業にひとかたならぬご厚情を賜り誠にありがとうございました。本年も変らぬご厚誼のほど、心よりお願い申し上げます。

昨年11月本誌にも掲載されていますが、一昨年の台風12号による那智勝浦町配水幹線応急復旧応援に対する当組合の活躍に対しまして、和歌山県知事からの感謝状につづき、厚生労働大臣表彰を受賞することが出来ました。改めて組合員各位のご協力に対しまして、感謝申し上げます。この度の教訓から県連合会と和歌山県との間で、災害協定が締結され、より一層災害復旧に対する社会的使命を感じさせられました。

第46回衆議院議員選挙が12月16日に行われた結果、自民党が過半数を大きく上回り圧倒的勝利を収めて、3年3ヶ月ぶりの政権奪還を決めました。民主党は政権批判の逆風の中で参敗しました。民主党参敗の原因は、政権獲得を優先するあまり、政策を二の次にした寄合い所帯政党が災いしたと云われています。党の基本理念である綱領が再生には必要ではないか。自民党の圧倒的勝利は「民主党よりまし」が理由と云われています。小選挙区制に特有の「振り子現象」が、再び起きたわけですが、自民党には「昔の政治」だと云われない政権運営を、民主党に

は、将来政権を奪回した際は、過ちを繰り返さない党の再生を望むものです。

新政権に求められているのは、一日も早いデフレからの脱却と、景気回復であります。今年の参議院議員選挙では、必ずこのことが問われると思います。

国土交通省では、社会保険未加入問題への取り組みについて、建設産業の持続的な発展に必要な人材の確保を図るとともに、事業者間の公平で健全な競争環境を構築する必要から、総合的な対策の実施に取り組んでいます。こうした取り組みに当たっては、法的福利費が発注者から元請企業、下請企業を経由して個々の技能労働者まで、適正に支払われるようにすることが重要です。建設工事におけるすべての受注者が、雇用保険、健康保険及び厚生年金保険に加入することが求められています。中央建設業審議会より「社会保険加入の前提となる法定福利費の原資を確保するため、専門工事業界を中心に見積書時の法定福利費の明示を進める」との提言がなされ、業界団体として全管連でもその取り組みがなされています。業界の発展のためにも積極的な取り組みが必要かと考えます。

寒さきびしい折、くれぐれもご自愛のほど。

(編集委員 H生)

## ■組合だより 紀の水

●発行



和歌山市管工事業協同組合

理事長 小 向 俊 和

●編集

紀の水編集委員会

〒640-8251 和歌山市南中間町12

TEL (073) 436-6801

FAX (073) 436-6804

URL <http://www.w-kankoji.com>

E-mail: [wakayama@w-kankoji.com](mailto:wakayama@w-kankoji.com)